

■同送いただく資料

(以下の資料をチェックしていただき、すべて揃った時点で換気計画をご依頼ください。)

- ☐ 各階平面図……部屋別の面積、天井高さの記載のあるもの
- ☐ 矩計図……小屋裏、床下の通気止めなど、構造がわかるもの
- ☐ 配置図……建物の周囲環境のわかるもの
- ☐ 建築確認申請の際に添付される換気計算対象空間毎の面積、天井高一覧表(弊社で気積を算出する場合は、標準納期に加えて日数をいただく場合があります)
- ※図面をデータでお送りいただく場合は、jww形式又はdxf形式のCADデータでお送りください。
- ※納期の目安は、一般住宅の場合、中3日営業日以降となります。
- ※同一案件の2回目以降の修正と急ぎ(中3日営業日より短い日数の納期をご希望の場合)のご要望は、有償にて承りますので、弊社担当者までご連絡ください。

➡ 日本スティーベル(株) 提案センター 行き
FAX: 022-276-5974
E-MAIL: LWZ@stiebel-eltron.co.jp

■建物情報

物件名・工事名	
物件住所	

■ご依頼元情報

ご依頼日	※ご依頼日が弊社の営業日以外である場合は、翌営業日に受付いたします。		
会社名	支店、営業所名	支店／営業所	
ご担当者様	様	電話番号	
ご住所		FAX番号	
		e-mail	

■ご返信先

見積り提出方法	☐ FAXにて	☐ e-mailにて (PDFファイルにて送付)
送付先	☐ 上記、ご依頼元と同じ	☐ その他 ・宛先 (ご担当者様) (様宛) ・ FAX ・ e-mail
見積りの宛先	☐ 上記、ご依頼元と同じ	☐ その他 〈宛先名〉 〈他、記載事項〉

■その他建物情報

換気機種類のご希望	・ 壁面露出設置 ☐ 顕熱交換タイプ ☐ 全熱交換タイプ ・ 天井ビルトイン設置 ☐ 顕熱交換タイプ ☐ 全熱交換タイプ	※次世代省エネ地域区分でⅡ地域以北で第一種全熱交換タイプをご検討の場合は、弊社へご相談ください。 ※建物規模や換気対象範囲により、ご希望に添えないと判明した場合は、弊社よりご連絡いたします。
換気機本体設置位置		※特にご希望の無い場合や、寸法等の事情により不適と判断した場合は弊社で設定します。
換気対象除外部分	・ 顕熱交換タイプ ☐ 浴室 ☐ 収納・物入 ☐ 床下(基礎空間) ☐ 小屋裏(躯体空間) ・ 全熱交換タイプ ☐ 収納・物入 ☐ 床下(基礎空間) ☐ 小屋裏(躯体空間)	※通気があると判断できるデッドスペースは換気気積に算入します。 ※全熱交換タイプは湿気、臭気の伝搬を防ぐため、浴室、トイレは当該全熱換気より除外となります。
防火指定	☐ 不要 ☐ 必要	※防火延焼対策が必要な場合の措置として、外部フードを防火ダンパー内蔵品として計画します。
換気回数	☐ 0.5回/h ☐ 0.7回/h ☐ 0.3回/h	※0.7回/hでご希望の際も換気計算上は0.5回/hで検討しますが、換気機の仕様を0.7回/h達成品で計画します。
換気機材のお見積り	☐ 必要 ☐ 不要	※記入なし→不要とします。
圧力損失計算書	☐ 必要 ☐ 不要	※記入なし→不要とします。
その他ご要望		

- 本機器はお客様がメンテナンスをしやすい位置への露出設置を提案させていただきます。(換気システムが定期的にメンテナンスをする必要があることからの配慮です)
- 弊社より提供する資料は確認申請時の参考資料ですので、確認申請時の書式は当該地域ごとに定められたものをご使用ください。
- 弊社より提供する資料は参考資料ですので、設計、施工時には建築士・設計者等と十分に確認をとって進めてください。
- 本換気計画は一般住宅(集合住宅を含む)を想定し、弊社推奨のシステム部材を使用する前提となりますので、それ以外の計画は出来かねます。
- 室内と廊下等の換気経路内の建具は、必ずアンダーカット又はガラリを設け空気が流通するようにしてください。
- 浴室とトイレ等の空気の汚染のある空間を計画換気対象から除外する場合は、別途局所換気設備を設けてください。
- 給排気グリルの位置は、建物内の換気経路の形成や、風量バランスを考慮したうえで計画しますので、変更される場合は建物設計者の方が行ってください。
- 床下(基礎空間)や小屋裏空間(躯体空間)等の居住空間以外を全熱換気対象とする場合は、排気経路のみを導入します。
- 床下(基礎空間)や小屋裏空間(躯体空間)等を全熱換気対象とする場合は、居住空間と通気できる措置を建築工事で講じてください。
- ダクトの急激な曲げや、ダクトの接続部の気密が不十分な場合は、計画風量を達成できない可能性があります。
- ダクトの配管は、各階の天井ふところ空間に敷設しますので、ダクトや継手等の機材が十分に敷設・設置できる天井ふところ有効高さを確保してください。
- レンジフード等の局所換気機は必ず同時給排型をご使用いただき、室内が極端な負圧にならないようにしてください。
- ストーブや給湯器等の燃焼機器を室内に設置する際は、当該換気設備の影響を受けないよう必ず密閉型の機器としてください。
- 予告なしに機器の仕様、性能を変更する事が有りますので、ご了承ください。
- 仕様書が必要な場合は換気システムのサポートページよりダウンロードしてください。